

9月
から

市立小学校の4年～6年生全員に タブレット端末を1人1台配備します!

箕面の教育

固教育センター ☎727・5112 FAX727・4089

箕面市では、平成28年度に市内の小学校1校で4年～6年生にタブレット端末を配備し、教育効果を検証しました。その結果、授業の中で、一人ひとりの考える時間や、振り返りの時間が生み出され、子どもたちの思考力・判断力・表現力の育成につながる事が分かりました。

これを受けて、9月から、市立小学校の4年～6年生全員に、キーボード付きタブレット端末を1人1台配備します。現在、1人1台の導入を行っている自治体は、全国でも数少なく、ICT教育に積極的な大阪市でも約8人に1台の配備にとどまっています。



平成28年度に市内の小学校1校でタブレット端末を配備し、教育効果を検証!

例えば こんな場面で タブレット端末を活用しました!

算数の授業(5年生)では…

タブレットを活用して、その日の課題を一斉配布。教員は、子どもたち一人ひとりが画面に書き込んだ解答を一斉に電子黒板に表示しながら、クラス全体で考え方を共有しました。



理科の授業(5年生)では…

台風と天気の変化を調べる授業で、本では調べられない現在発生している台風などについて、タブレットの検索機能を使って調べました。



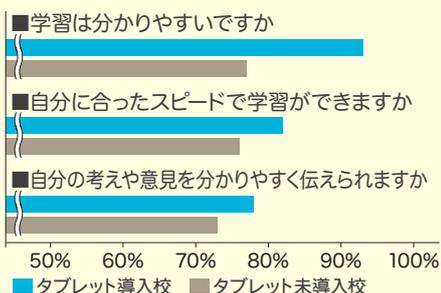
社会の授業(6年生)では…

文明開化前後の書物などに使われた挿絵をタブレットに表示して比較しました。「ぞうりが靴になっている」「髪型が変わっている」など、教科書の写真では小さくて分かりにくい違いについても、子どもたちは画面を自由に拡大や縮小をしながら確認していました。

その結果

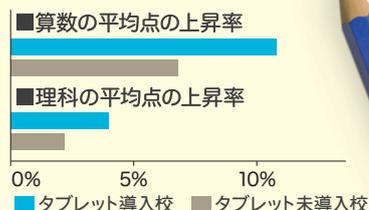
「学習が分かりやすい」という子どもが増加!

アンケート調査を実施したところ、「学習が分かりやすい」「自分のペースで学習できる」「自分の考えを伝えやすい」と回答した子どもの割合が、タブレット未導入校を大幅に上回りました。



算数・理科の正答率が上昇!

「箕面子どもステップアップ調査」において、算数・理科のほとんどの項目で正答率が上昇し、平均点が伸びました。特に、算数では数量関係や図形の問題、理科では観察・実験の問題の得点が上がりました。



子どもたちの考える時間や、振り返りの時間が増加!

タブレットを活用して、学習内容の説明や、資料の配布・回収の時間を短縮することで、約10分もの時間を節約できます。45分という限られた授業時間の中での10分はとても貴重で、子どもたち一人ひとりの考える時間や、振り返りの時間に充てることができました。

そこで

市立小学校の4年～6年生全員にタブレット端末を 1人1台配備します!

9月から、市立小学校の4年～6年生全員にタブレット端末を1人1台配備し、子どもたちの思考力・判断力・表現力の育成を進めるツールの1つとして活用していきます。

また、今後は小学1年～3年生、中学校の全学年でも教育効果の検証を進め、タブレット端末の配備を拡大していきます。



タブレット端末の配備について、詳しくは教育センター☎727・5112へお電話ください!